

## 総合戦略施策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	「にのみやLife」の提案と発信
概要	「二宮町に住み続けたい」、「二宮町に戻ってきたい」、「二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるようなライフスタイルを「にのみやLife」として確立し、そのプロモーション戦略を推進する。 新たな魅力を創出する、または既存の魅力を活かしながら更に魅力を高めることに取り組み、様々な世代の生活スタイル・ライフステージに応じた定住支援施策や移住支援施策の展開を図る。

### 数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町の人口	28,479人 <small>（平成27年9月1日現在）</small>	27,168人 <small>（平成31年度実績値）</small>
二宮町の社会移動数	転出超過213人 <small>（平成26年度住民基本台帳）</small>	転出超過58人以下 <small>（平成31年度実績値）</small>

### 重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
「にのみやLife」PRのHPの閲覧数	14,451					基準値の2倍	
空き家バンクに登録された空き家（空き地を含む）の利活用件数	-					30件	
【説明欄】（進捗状況・数値で表せない指標について）							

### 総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
「にのみやLife」プロモーションプロジェクト	
空き家を活用した定住希望実現プロジェクト	Ⅱ
親・子・孫の同居・近居実現プロジェクト	Ⅱ
成果や課題（箇条書き）	<p>広報を充実させ、各種事業・制度の認知度の向上を図る。また、不動産業者をはじめとした外部の関係機関を含めた検討会を立ち上げ、空き家の適正管理や空き家にしないための方策を検討するとともに、セミナーの開催等、空き家に対する町民意識の向上を目的とした啓発を実施する。</p> <p>空き家バンクHPを活用し、利用者促進を図るとともに、状況に応じて交付対象の見直し等を検討していく。</p>

該当評価にレを入れてください

【参考】（総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋）  
Ⅰ：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する  
Ⅱ：一部、事業を改善する必要がある  
Ⅲ：プロジェクト全体を見直す必要がある  
Ⅳ：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	<p>空き家実態調査の結果並びにその後の空き家バンクの登録申請状況などから、当町における空き家をストックとして活用するためには、改修などが必要な物件が多いことが判ってきた。引き続き定住支援施策や移住支援施策に取り組む必要があるが、KPIとして設定した「空き家バンクに登録された空き家（空き地を含む）の利活用件数」については、平成27年度に実施した空き家実態調査の結果を踏まえ、見直す必要がある。</p> <p>また、同居近居希望者に対する助成基準の見直しを行う必要がある。</p>

### 今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	<p>同居・近居は、少子高齢化社会における一つの有効な施策ではあるが、取り組みが始まったばかりということもあり、実績が上がっていない。各種事業・制度の認知度の向上を図る一方で、空き家バンク制度や住宅リフォーム助成事業と併せ、今後の総合的な支援策を検討していく。また、検討会を立ち上げ、空き家の適正管理や空き家にしないための方策を検討するとともに、セミナーの開催等、空き家に対する町民意識の向上を目的とした啓発を実施する。なお、KPIについては、実態に即したものに见直す。</p>
----------------	---

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input checked="" type="checkbox"/>	5:その他 [KPIの見直し]
意見等	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくるために、「にのみやLife」を確立し、提案・発信することは重要な施策であることから、28年度から本格始動するシティプロモーション戦略と各プロジェクトを連動させることで、認知度の向上と併せて、定住・移住支援施策を効果的に展開する必要がある。 また、「空き家を活用した定住希望実現プロジェクト」と「親・子・孫の同居・近居実現プロジェクト」は、移住・定住施策の有効な手段であることから、住宅ストック流通補助、住宅リフォーム助成、同居・近居助成を総合的な支援策として見直す。併せて、KPIについても見直す必要がある。